

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	情報処理Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0056		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	新・明解 C言語 入門編 柴田 SBクリエイティブ					
担当教員	豊平 隆之					
到達目標						
(1) ポインタを理解し応用できる。 (2) ポインタを用いて文字列を操作できる。 (3) 構造体を理解し応用できる。 (4) ファイルを利用するプログラムを作成できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ポインタを用いたプログラムを自作できる。		ポインタを用いたサンプルプログラムを理解できる。		ポインタ変数の宣言や初期化ができない。	
評価項目2	ポインタを用いた文字列アクセスを利用したプログラムを自作できる。		ポインタを用いた文字列アクセスのサンプルプログラムを理解できる。		ポインタを用いた文字列アクセスを理解できない。	
評価項目3	構造体を有効に用いたプログラムを自作できる。		構造体を利用したサンプルプログラムを理解できる。		構造体を理解できない。	
評価項目4	ファイルを用いたプログラムを自作できる。		ファイルに関するサンプルプログラムを理解できない。		ファイルを理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	実務上広く使われているCでのプログラミングを学ぶ。					
授業の進め方・方法	教科書の基本的な例題, 演習問題を中心に演習を進めていく。					
注意点	事前に机上で例題プログラムを予習し, 練習問題に取り組むといった努力をしなければプログラミングの能力は身につかない。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ポインタ	ポインタ, アドレス演算子, 間接演算子を理解できる。		
		2週	ポインタと関数	関数の引数としてのポインタを理解できる。		
		3週	ポインタと関数	ポインタを利用した関数を理解できる。		
		4週	ポインタの型	ポインタの型を理解できる。		
		5週	空ポインタとスカラ型	空ポインタとスカラ型を理解できる。		
		6週	ポインタと配列	間接演算子と添え字演算子の役割を理解できる。		
		7週	ポインタと配列	配列とポインタの相違点を理解できる。		
		8週	文字列とポインタ	配列による文字列を理解できる。		
	2ndQ	9週	文字列とポインタ	ポインタによる文字列を理解できる。		
		10週	ポインタによる文字列の操作	文字列の長さを理解できる。		
		11週	ポインタによる文字列の操作	文字列のコピーを行う場合の問題点を説明できる。		
		12週	ポインタによる文字列の操作	ポインタを返す関数を理解できる。		
		13週	文字列を扱うライブラリ関数	文字列を扱うライブラリ関数を利用することができる。		
		14週	文字列を扱うライブラリ関数	文字列を扱うライブラリ関数を利用することができる。		
		15週	試験答案の返却・解説	試験において間違った部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
		16週				
後期	3rdQ	1週	構造体	構造体の宣言, 構造体変数の宣言が理解できる。		
		2週	構造体メンバへのアクセス	構造体変数でのメンバアクセスが理解できる。		
		3週	ポインタによる構造体メンバへのアクセス	構造体へのポインタ変数からのメンバアクセスが理解できる。		
		4週	構造体の値を返す関数	構造体の値を返す関数が理解できる。		
		5週	構造体の配列	構造体を要素に持つ配列が理解できる。		
		6週	メンバとしての構造体	構造体をメンバに持つ構造体を理解できる。		
		7週	ファイルとストリーム	ファイルとストリームを説明できる。		
		8週	ファイルのオープン・クローズ	ファイルのモードについて説明できる。		
	4thQ	9週	ファイルからのデータ読取り	データ読取りの方法を理解できる。		
		10週	ファイルへのデータ書込み	データ書込みの方法を理解できる。		

		11週	ファイルの中身の表示	ファイルからの1文字入出力のプログラムを理解できる。
		12週	テキストとバイナリ	テキストファイルとバイナリファイルの違いが理解できる。
		13週	バイナリファイルの読み書き	バイナリファイルの読書きが理解できる。
		14週	print関数fとscanf関数	関数の仕様の読み方が理解できる。
		15週	試験答案の返却・解説	試験において間違った部分を自分の課題として把握する（非評価項目）。
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0